

令和7年度

参加費無料

東京都防災(語学)ボランティア研修

第4回 オンライン(公開)

事例研究 多文化社会における災害対応

-能登地震・奥能登豪雨の外国人支援を通して見えてきたこと-

第1部では、2024年能登地震、奥能登豪雨において在住外国人を含む被災地の支援に携わった山路氏、宮田氏の経験談や知見を多文化防災の事例としてご講演いただきます。第2部では、両講師に加えて、同地震の外国人避難者でありながら避難所運営に関わったグエン氏、隣県から同地震被災者の支援に関わったマゼン氏をパネリストとして迎え、災害における外国人支援のあり方や災害支援の担い手側の課題などを学びます。

第1部 講師による基調講演

能登地域の外国人の現状と支援の状況



山路 健造氏

一般社団法人多文化人材
活躍支援センター 代表理事

立命館アジア太平洋大学卒業後、西日本新聞社で国際交流や多文化共生の現場取材。退職後、JICA青年海外協力隊員としてフィリピンに派遣され、自身も「外国人」の経験を積む。帰国後、認定NPO法人地球市民の会に入職し、「サウディー佐賀」を設立。ウクライナ避難民支援や能登半島地震支援にも携わり、現在は一般社団法人多文化人材活躍支援センター代表理事、輪島市社会福祉協議会生活支援相談員、石川県国際化推進委員も務める。第3回JICA海外協力隊社会還元表彰審査員特別賞(災害支援)受賞。



富山の外国人支援と能登をつなぐ

宮田 妙子氏

NGOダイバーシティ
とやま 代表

日本語教師として教育機関や企業で日本語教育・生活支援に従事。NGOダイバーシティとやま代表理事、NPO法人富山国際学院理事長。射水市多文化こどもサポートセンター代表、多文化共生マネージャーとしても活動。有機野菜づくりを通じた「ハケ山ベジラボ」での多文化共生畑、フードバンクとやま、多文化こども食堂など地域福祉にも貢献。JICA北陸等と「共創の未来とやま実行委員会」を設立し、多文化共生の推進に尽力。富山県の総合計画審議委員、富山県外国人材活躍・多文化共生推進にかかる有識者検討会委員等も務める。

第2部 事例報告/パネルディスカッション

講師のファシリテーションにより、パネリストの経験談を聞き、災害における外国人支援に関するディスカッションを行う。

パネリスト

サリム・マゼン氏 一般社団法人富山ムスリムセンター代表理事

シリア出身。富山県にて貿易業を営む傍ら、2013年9月に一般社団法人富山ムスリムセンターを設立。代表理事として、留学生支援、地域との交流促進、ハラル認証の普及に尽力するほか、海外の紛争地・被災地の支援や、熊本地震や能登半島地震など全国の被災地において炊き出しを通じた支援活動を行うなど、社会貢献を続けている。

グエン・ティ・ゴック・ミー氏 株式会社タマタニ

ベトナム出身。2023年に家族と離れ技能実習生として来日し、石川県輪島市の水産加工企業に現在まで在籍。能登半島地震では寮が損壊したが、唯一の外国人として約6か月間生活した避難所では運営にも積極的に参加し、支えあいながら生活。地域住民との絆を深め、復興支援や交流活動を通じて「ミーちゃん」と親しまれている。

日時 2025年12月14日(日)10:30~12:30

定員 500名 ※申込制

対象者 東京都防災(語学)ボランティア、外国人の支援に携わる方、本テーマに興味のある方

申込期間 2025年11月10日(月)~12月12日(金)

開催方法 Zoomによるオンライン開催

申込方法

右記二次元コード又は下記URLよりアクセスしてください

<https://app.itto.co/bousai-volunteer2025-online/>



確認事項

- 参加希望者が定員を超えた場合、抽選となります。
- 抽選結果及び研修の参加方法(当選された方のみ)を研修1週間前までにメールにてお知らせします。メールが届かない場合は、事務局までご連絡ください。
- 内容については一部変更となる場合があります。
- 東京都防災(語学)ボランティアの方は、アンケートの提出をもって受講完了といたします。

申込に関するお問合せ

東京都防災(語学)ボランティア研修事務局
(株式会社ツクルス内)

TEL:03-6915-8003

MAIL:bousai-volunteer2025@itto.co

研修内容に関するお問合せ

東京都生活文化局 都民生活部
地域活動推進課 東京都防災(語学)ボランティア担当

TEL:03-5320-7738

MAIL:S1161202@section.metro.tokyo.jp